

2004 年度 委員会活動成果報告

(2 0 0 5 年 3 月 3 1 日作成)

委員会名	住宅と都市の間の空間デザイン小委員会	主 査 名：杉山茂一
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岑生
設 置 期 間	年 月 ～ 年 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>既成住宅市街地においてマンションが都市空間を阻害するのを防ぐための規制が、かならずしも良好な市街地形成につながらない。住宅の安全確保のための閉鎖化が住宅と都市の接点空間の貧困化を招く。こういった状況のなかで、住宅・都市の計画規範は閉塞状態に陥っている。このような認識のもとに法制度や文化・生活規範を問い直し、住宅と都市空間の接点のあり方、多様なcommonsスペースのあり方など、住宅と都市の間の空間デザインについて考える。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	杉山茂一(阪市大), 徳尾野徹(阪市大), 森永良丙(千葉大), 宇杉和夫(日大), 小浦 久子(阪大), 小林秀樹(千葉大), 齊藤広子(明海大), 田中友章(フォルムス), 野澤康(工学院大), 初見学(理科大), 平山洋介(神戸大学), 三谷幸司, 安枝英俊(京大), 山本理(長谷工), 横山俊祐(阪市大)	
設置 WG (WG 名: 目的)		
2004 年度予算	263,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 住宅と都市の間の空間デザインに関わる学生の論文についての調査研究 2. 地区計画によるまちづくりの事例検討 3. マンション・ディベロッパーのまちづくりへの姿勢の調査研究
	委員会 HP アドレス:
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>敷地単位を超えたルールあるいは街区単位のルールの可能性、住宅で街をつくる実践事例についての知見を得た。</p>

その他評価すべき 事項	
----------------	--